

2018 年度事業計画

(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日まで)

【事業の概要】

I. 奨学事業

1. 奨学援助

計 140,400 千円

2018 年度の在籍予定者数は 65 名とする。奨学生の内訳は以下の通り。

(1)一般奨学生及び P.B.S(Post Bachelors Scholarship)奨学生

日本の大学で学ぶ主としてアジアからの私費留学生を対象とする。学部生及び大学院生等のうち、志操堅固・学力優秀であり、かつ学業を続けるために経済的援助を必要とする奨学生について、奨学事業選考委員会にて選考のうえ、奨学生を決定する。

継続奨学生と合わせ、年間の奨学生数 42 名とする。

なお、奨学金については、月額 18 万円を原則 2 年間支給する。

(2)渡日前採択奨学生

日本の大学等に入学する目的を持って来日する留学生を対象とする。年間の奨学生数は 23 名とする。

なお、渡日前採択奨学生については、来日後、渡航支度金・入学金等の援助金として 108 万円を支給するほか、大学入学までの滞在費月額 18 万円(高校卒業後来日の者：滞在期間 6 ヶ月 108 万円限度)及び大学入学から大学の正規就学期間が終了するまで学部奨学援助月額 18 万円を支給する。

【奨学生採択計画】

対象奨学生	2017 年度 実績	2018 年度計画			
		新規	継続	合計	前年差
①一般奨学生	36	17	21	38	+2
② P.B.S 奨学生 (Post Bachelors Scholarship)	6	0	4	4	-2
③ 渡日前採択奨学生	24	4	19	23	-1
合 計	66	21	44	65	-1

※渡日前採択奨学生については、中国から4名を採択予定。

なお、2018年度採択予定の一般奨学生について2017年度中に面接審査を実施済み。中国渡前採択奨学生については2018年度中に実施する予定。

2. 交流活動

計 15,450 千円

採択された奨学生を対象に、役員・評議員および奨学事業選考委員等が出席して、6月に奨学金贈呈式を実施し奨学生を激励する。またその他年3回程度(内1回は研修旅行)の交流会および研究発表会、工場見学、日本文化体験等を行い、奨学生間並びに奨学生と財団間の親睦や交流を図り、奨学生育成の一助とする。

3. 事業運営

計 20,970 千円

生活面や勉学状況等を財団が掌握するため、年6回程度の個人面談を実施し、指導・助言等を行う。また、奨学生間及び奨学生と財団間との交流に資するため、毎年「交流誌」の発行を行う。

その他、奨学生の募集活動及び面接・選考を行うための奨学事業選考委員会を開催する。公募費として1,940千円、選考費1,750千円、給与手当10,400千円、他6,880千円を計上。

合計 176,820 千円(A)

II. 研究助成事業

1. 研究助成金

計 214,000 千円

寄附金からは、「研究者育成助成<ロッテ重光学術賞>」は、5年間に渡る支給となる為2014年度分以降からの合計10名分で150,000千円(小計A)。「奨励研究助成」については、2018年度分10名分で30,000千円(小計B)、合計①(A+B)180,000千円。

また、公益事業積立金からは、「研究者育成助成<ロッテ重光学術賞>」では2015年度よりの継続1名分15,000千円(小計C)。「奨励研究助成」では、3名分9,000千円及び2018年度より1件1,000千円「奨励研究助成」10名分の実施を計画している為10,000千円で19,000千円(小計D)。合計②(C+D)34,000千円を公益事業積立金より取崩す計画。

(単位:千円)

助成名称	寄 附		公益事業積立金取崩し	
研究者育成助成 〈ロッテ重光学術賞〉	2014年度採択2名分	30,000		
	2015年度採択2名分	30,000	2015年度採択1名分	15,000
	2016年度採択2名分	30,000		
	2017年度採択2名分	30,000		
	2018年度採択予定2名分	30,000		
	小計A	150,000	小計C	15,000
奨励研究助成	2018年度採択予定10名分 (3百万×10名)	30,000	2018年度採択予定3名分 (3百万×3名)	9,000
			2018年度採択予定10名分 (1百万×10名)	10,000
	小計B	30,000	小計D	19,000
	合計①(A+B)	180,000	合計②(C+D)	34,000

総計(①+②) 214,000

〈研究助成事業の特徴〉

研究者育成助成制度は「食と健康」の分野において、優れた若手研究者がわが国トップクラスの研究者として成長するに相応しい支援を行い、採択者には〈ロッテ重光学術賞〉として年間 15,000 千円を最大 5 年間支給する。本制度は日本国内では数少ない新しい研究者育成制度である。育成支援教員のもとに、安定した研究の場を確保し、そのために必要な資金を長期に助成する点が大きな特徴である。

一方、奨励研究助成制度は、先端的研究に専念する優れた若手研究者を対象とした助成制度である。研究期間を最長 3 年まで認めている点、自然科学及び人文社会科学等の広域科学分野からの応募を認めている点、更には研究者に最大 3,000 千円支給する等に特徴がある。また、2018 年度からは、1 件 1,000 千円を上限とした助成を開始する事により、すそ野を広げてより多くの研究者からの募集を募る試みとして実施する。

2. 研究助成活動

計 3,580 千円

研究助成活動に関しては、贈呈式や研究発表会等の開催における意見交換や情報収集などを通じて、研究助成事業の質的向上を図るための費用等を計上する。

3. 研究助成事業運営

計 30,600 千円

研究助成事業選考委員会開催時の「選考費」として 1,700 千円。

公募費として応募告知等で 17,300 千円、給与手当 5,500 千円、他 6,100 千円を計上。

合計 248,180 千円(B)

(A)+(B)=425,000 千円

以上